序章

復興まちづくりガイダンスについて

序-1 復興まちづくりガイダンスの目的

今後の南海トラフ地震等の大規模な津波災害発生時において、早期回復を実現するために、復興まちづくりの事業主体となる市町村が被災後の各段階において直面することが想定される課題と事前準備とを含めた対応方法について、特に防災集団移転促進事業、土地区画整理事業、津波復興拠点整備事業を活用する際に、東日本大震災からの復興まちづくりで得た知見・教訓を整理し、ガイダンスとしてとりまとめる。

序-2 ガイダンスの利用対象

主として南海トラフ地震により被災が想定される市町村による利用を想定する。ただし、災害発生時などに当該市町村を支援することとなる都道府県においても参考としていただくことを想定している。

序-3 ガイダンス利用における留意点

(1) ガイダンスの構成と利用方法

・本ガイダンスでは、東日本大震災の復興まちづくりにおける実態に基づき、復興まちづくりにおける多岐に渡る取組を対象に教訓等を整理している。南海トラフ地震等による津波被災が想定される地方公共団体におかれては、復興まちづくり及びその事前準備を検討する上で重要な課題・教訓を概括した「第1部:東日本大震災からの復興まちづくりの特徴的な課題・教訓」を是非とも最初にご参照頂きたい。さらに事前準備を検討するにあたっては「第2部:津波被害が想定される地区における災害後の復興まちづくりに向けた事前対策のあり方」を、被災後の復興まちづくりの進め方や留意点については第3部を適宜ご参考にしていただきたい。

【第1部:東日本大震災からの復興まちづくりの特徴的な課題・教訓】

掲載内容	利用方法
東日本大震災における復興まちづくりの特徴的	東日本大震災の復興まちづくりの教訓
な課題と教訓を掲載	を把握し、復興まちづくりへの理解・
	事前準備を行う上での参考として利用

【第2部:津波被害が想定される地区における災害後の復興まちづくりに向けた事前対策のあり方】

掲載内容	利用方法	
南海トラフ地震等の大規模な津波災害の被災に係	防災・減災対策と合わせて、復興まちづ	
え、円滑な復興まちづくりに向けて事前から取り	くりの事前準備内容の参考として利用	
組むことが望ましい事項を掲載。事前に取り組む		
べき事項は、第1部で示す東日本大震災における		
復興まちづくりの教訓等を踏まえたものである。		

【第3部:津波被害からの復興まちづくりにあたっての手順と留意事項】

掲載内容	利用方法
東日本大震災の復興まちづくりの実情に基づき、	東日本大震災の復興まちづくりの課題
各段階別の復興まちづくりにおける留意点を掲	や教訓をより詳細に把握しておくとと
載	もに、実際に震災が起きた場合の実用
	文献として利用

【第4部:東日本大震災の津波被災自治体等における復興まちづくりの取組事例】

掲載内容	利用方法	
第1部·第3部に掲載した課題や留意点に関する	第1部・第3部掲載の課題や留意点の	
東日本大震災の被災地域における取組を記録と	理解促進や、ガイダンス利用自治体と	
して掲載	の地域特性等の類似性から、復興まち	
	づくりとして参考にすべき市町村を抽	
	出する際に利用	

【資料編:東日本大震災の記録】

掲載内容	利用方法	
東日本大震災の復興まちづくりの概要として、復	大規模な津波被害からの復興まちづく	
興まちづくりの進捗状況(ガイダンス作成時点)	りに要する期間概要の把握や、国にお	
ならびに、復興まちづくりに際して主として国が	ける取組概要を把握する際に利用	
実施した取組について掲載		

(2) ガイダンス利用上の留意点

●ガイダンス作成の前提

・本ガイダンスは、東日本大震災からの復興まちづくりの途上(平成 27 年度)にとりまとめたものに追補する形で、「東日本大震災による津波被害からの市街地復興事業検証委員会とりまとめ」(令和 3 年 3 月 31 日)の内容もふまえ、内容の充実を図ったものである。

●東日本大震災との差異による留意点

- ・本ガイダンスでは、東日本大震災からの復興まちづくりにおいて実際に顕在化した課題とその対応方法から教訓等を整理している。そのため、自治体の被害想定や地形条件、これまでのまちづくりの経緯等に照らし合わせて参照する必要がある。
- ・第3部においては、事例を掲載するに当たって、人口や地形条件を整理して掲載しているので参考にしていただきたい。
- ・また、本ガイダンスの主な利用対象とする南海トラフ地震では、東日本大震災と比較して津 波の到達時間が短く想定されている地域が多いことや、地震の揺れによる家屋の倒壊被害が 多く想定されていることを踏まえて利用する必要がある。

【参考:東日本大震災と南海トラフ地震との津波到達時間の比較】

	地点	津波影響開始時間	最大波到達時間
東日本大震災での 津波到達時間 ^{※1}	岩手県宮古市	15分(-124cm)	40 分後(+8.5m 以上)
	宮城県石巻市	_	40 分後(+8.6m 以上)
	福島県 いわき市	22分(+260cm)	65 分後(+9.3m 以上)
南海トラフ地震での 温波到達時間(想定)	徳島県 徳島市 (マリンピア東端)	25 分後(-20cm) ^{※2}	53 分後(+5.0m 想定) ^{※2}
	徳島県 美波町 (日和佐港入口)	10 分後(+20cm) ^{※2}	28 分後(+9.8m 想定) ^{※2}
	高知県高知市	5 分以内(+30cm) ^{※3}	34 分後(+10m 想定) ^{※4}
	高知県黒潮町	5 分以内(+30cm) ^{※3}	30 分後(+10m 想定) ^{※4}

※1:出典「災害時地震·津波速報 平成23年(2011年)東北地方太平洋沖地震,気象庁」

※2:出典「津波影響開始時間及び最大波到達時間,徳島県」

※3:出典「津波浸水予測時間図,高知県」

※4:出典「都道府県別市町村別津波到達時間一覧表,内閣府」